

過去問の傾向と予想 (各問の上を書いてある点数は一般的な目標得点です)

回数	2問	3問	4問	5問	合格率	必要仕訳正答	開催月
133	14点 伝票→元帳→仕訳日計表 ボリュームが多いので12点で良し	14点 本支店会計 損益計算書は確実に取ろう 本支店の各利益や支店は×	18点 本社工場会計 本店側と支店側が簡単	16点 個別の仕掛品勘定と売上原価計算 仕掛品勘定はとろう	47.6%	3問	2
134	10点 銀行勘定調整表 現金は少し難しいが当座預金関連は比較的簡単	14点 精算表 売上原価a/c迷うかもしれませんが、他は比較的簡単	16点 C/R・P/L 差異がらみで4点失点までは可	12点 直接原価計算 第2期は少し難しいが、第1期関連は比較的簡単	13.9%	5問	6
135	9点/18点 減価償却費 建物と減価償却費は確実にとろう	16点/22点 精算表	12点 部門配賦表 やはり差異がキーか	16点 標準原価計算だが、製造間接費だけ問われたので厳しかったか 全経1級してればOKだった	22.5%	2問	11
136	16点 伝票→元帳→仕訳日計表 シンプル満点も狙えた	18点 本支店会計 非常にシンプルな問題 満点も	16点 費目別の仕訳 差異外しても16点	10点 直接原価計算 132回と134回の過去問しっかりしていれば予定配賦以外はいけるはずだが...	41.6%	3問	2
137	16点 銀行勘定調整表 134回よりも簡単 準備できていたはず	14点 損益計算書 利息や減価償却は難しいが部分点は狙える	16点 C/R・仕掛品a/c やはり差異の扱いだけ	16点 組別総合原価計算 P/Lで失点しても、減損もないので16点はいける	34.6%	2問	6
138	12点 株主資本等変動計算書 仕訳は簡単、一度でも見ておけば	12点 貸借対照表 月次処理や前払い費用、返品未処理など難解な問題多かった	16点 個別原価計算の仕訳 製造番号3つなので簡単 1-4は確実にとろう	16点 単純総合原価計算 本当は満点といたい ただ、2,3問で慌てると失点しそう(仕損の取扱い)	26.4%	3問	11
139	14点 固定資産 簡単な問題、落としても問6と記憶だけ	14点 貸借対照表+各利益の算定	18点 部門別原価計算 予定配賦と差異分析を押さえれば絶対に解ける	18点 直接原価計算(CVP分析) 非常にシンプルな問題。できれば満点欲しい	21.8%	3問	2
140	20点 伝票 非常に簡単な伝票問題です。確実に満点が欲しいところです	12点 損益計算書 ここ最近と同様、問われ方が難しくなっており、月次などの実務を意識した内容が増えています。ただ、138,139回を復習すれば取れる問題もあるので、取捨選択が大事です	18点 標準原価計算 本来は満点と書きたいところですが、最後の利益を失点しても18点は取れますね	20点 等級別総合原価計算 過去問の復習で十分に満点が取れる問題でした。	34.5%	0問	6
141	10点 有価証券 基本的な論点だが、金額の大きさや帳簿転記に戸惑った受験生が多かったようです	16点 精算表 138~140回に比べて非常にやさしい問題。満点も狙えた内容	16点 本社工場会計 (5)の製品への振替の表現に戸惑うが、(1)から(4)は楽	20点 CVP分析 テキストの基本問題レベル 10分程度で満点を取りたい	11.8%	2問	11
142	10点 株主資本等変動計算書 問われ方が特徴的なので戸惑った受験生は多かったでしょう	14点 貸借対照表 138~140回の難易度に戻った感じ です。ただその3回分を実施していれば14点は確保できた筈です	16点 標準原価計算 差異分析と記憶の基本的な問題 これは満点が欲しい問題	16点 工程別総合原価計算 これも基本的な問題。満点が欲しい問題	14.8%	4問	2
143	10点 固定資産 本試験では台帳部分是对应難しかったはず。前半部分で10点確保	16点 損益計算書	16点 個別原価計算一月次PL 差異分析	16点 標準原価計算 差異分析中心(一部帳簿価額)	25.8%	3問	6

<144回予想>

<b>本命</b>	<b>銀行勘定調整表(134タイプ)</b>	<b>貸借対照表&amp;株主資本等計算書+利益推定問題(139回タイプ)</b>	<b>各費目別の仕訳(予定配賦)136タイプ:元帳転記も押さえておこう</b>	<b>追加投入と仕掛品の評価額の総合原価計算(141回予想動画)</b>	<b>仕訳</b>
<b>目標点</b>	<b>14点</b>	<b>14点</b>	<b>16点</b>	<b>14点</b>	<b>3問確保</b>
	解答速報137(2問)、フリテ02	解答速報139(3問)138(2問)	解答速報136回4問	予想案141回	
<b>対抗</b>	<b>消費税の一連の流れ(実務ワンポイント動画)</b>	<b>精算表(内容は138-140のF/S)(+新論点・・役務収益・売上原価・電子記録債権・貸倒引当金の問題)</b>	<b>部門別計算(表+仕訳)139タイプで仕訳問題</b>	<b>個別原価計算(133タイプ)</b>	<b>仕訳</b>
<b>目標点</b>	<b>18点</b>	<b>14点</b>	<b>12点</b>	<b>16点</b>	<b>3問確保</b>
	フリテ10回+実務ワンポイント				
<b>大穴</b>	<b>有価証券(社債は購入側 ※発行側は1銀の範囲です。訂正してお詫び申し上げます)</b>	<b>本支店会計(本店または支店単独)複数支店の可能性も127回の内部利益ないタイプ</b>	<b>本社工場会計(仕訳+PL)</b>	<b>直接原価計算と全部原価計算(136回タイプ)</b>	<b>仕訳</b>
<b>目標点</b>	<b>14点</b>	<b>14点</b>	<b>18点</b>	<b>14点</b>	<b>3問確保</b>

まずは過去問5回分をしっかりと実施しましょう。特に商業簿記は過去問からの出題が多く、新論点以外でも70%は確保できるはずですが。上記の2問、3問対策をしっかりと実施すれば、商業簿記全般(仕訳含む)の得点をUPする事ができます。

また最近では帳簿の問題が多いので、第4問の工業簿記でも帳簿の問題の可能性はあると思います。また、各専門校や予想会社が「工業簿記・原価計算を得点源」にしよう」とあまりにも声高に話すので、日商側はひねった問題を出す可能性があると思います。要は各問題でしっかりと70%を確保するつもりで学習すれば、合格ラインには届くはず。特に第4問では予定配賦の考え方をしっかりと理解して応用問題にも対応できるようにして下さい。

新論点に関しては、第1問から3問のいずれでも問われる可能性があります。難問は合否には影響しないので早めに捨てる決断が大事です。まとめて出題されるとしたら、第二問で売買の流れを問う問題で(役務収益・売上原価・電子記録債権・貸倒引当金)を網羅的に出す可能性くらいでしょうか。

第3問で本支店会計の本店のみ・支店のみ損益勘定作成などが出題されたら、通常の決算整理仕訳と転記だけで12~14点は取れます。見慣れない問題であるのではなく、とにかく仕訳をしっかりと行って転記できることを転記するのが大事です。ただ本支店会計は仕訳問題レベルになる可能性が高いと思われる。場合によっては2問で本支店の流れを問う問題の出題可能性もありえると考えられます。テキストなどで一連の流れを押さえておいて下さい。